

3人に1人が就活で生成AIを利用、活用法は「エントリーシートの推敲」が最多 利用理由は「アウトプットの改良」が最多で、生成AIを面接官に見立てた利用も

「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査（5月）」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、2025年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査(5月)」の結果を発表しました。

TOPICS

- ◆ 2025年卒業予定の大学生・大学院生の5月末時点での内々定率は74.4%(前年比4.2pt増)。就職活動を継続する予定の学生は51.6%【図1、2】
- ◆ 3人に1人以上が就職活動で生成AIを利用した経験があると回答。利用用途は「エントリーシートの推敲」が最多で56.6%【図3、4】
- ◆ 生成AIを利用する理由は「自身のアウトプットの改善・改良」「作業時間の短縮」と、活動の補助的な活用が上位に【図5】
- ◆ 有用だと感じたプロンプトは文章の添削に加えて、生成AIを人事担当者に見立てた面接練習などが挙がる【図6】

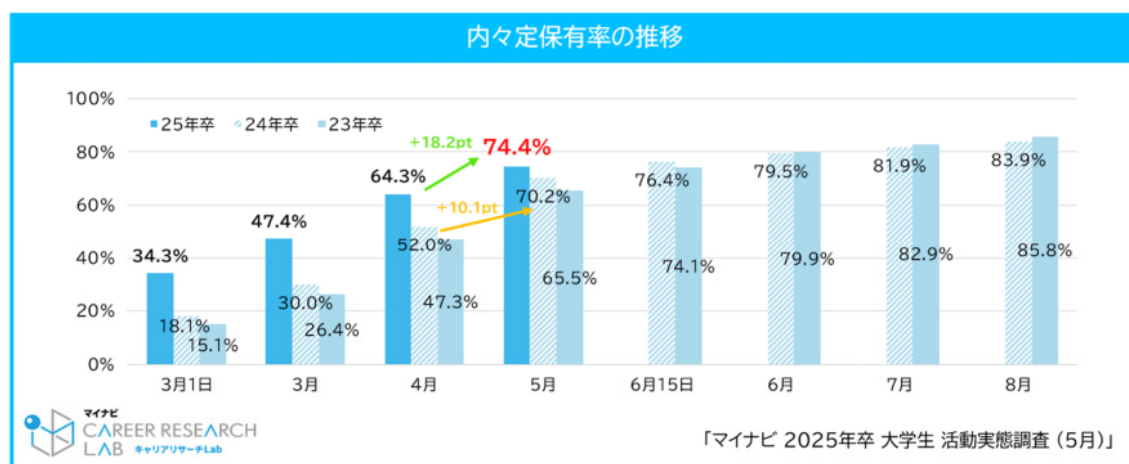
【調査概要】

2025年卒業予定の大学生・大学院生の5月末時点での内々定率は74.4%(前年比4.2pt増)
就職活動を継続する予定の学生は51.6%

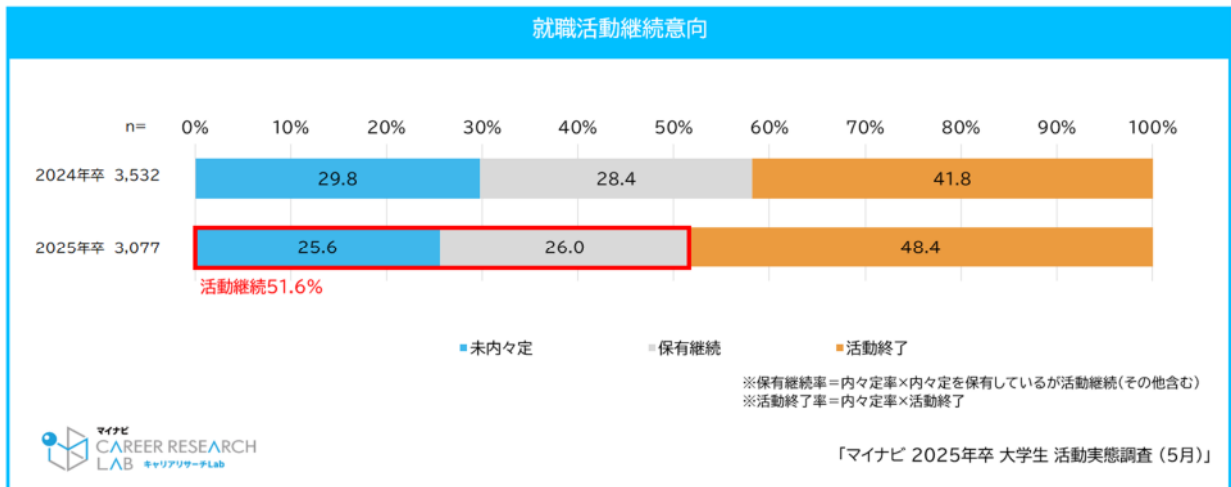
2025年卒業予定者の5月末時点での内々定率は74.4%(前年比4.2pt増)となり前年を上回った。前月からの増加率を見たところ、昨年の4月から5月は18.2%増加していたが、今年は10.1%と、上昇率は緩やかだった。

また、内々定率は例年より高いものの、未内々定者を含めた就職活動継続予定者は51.6%で、特に内々定保有・活動継続予定の学生は昨年と同程度の2割程度だった。大半の学生が6月も就職活動を行う予定であることがうかがえる。【図1、2】

【図1】



【図2】

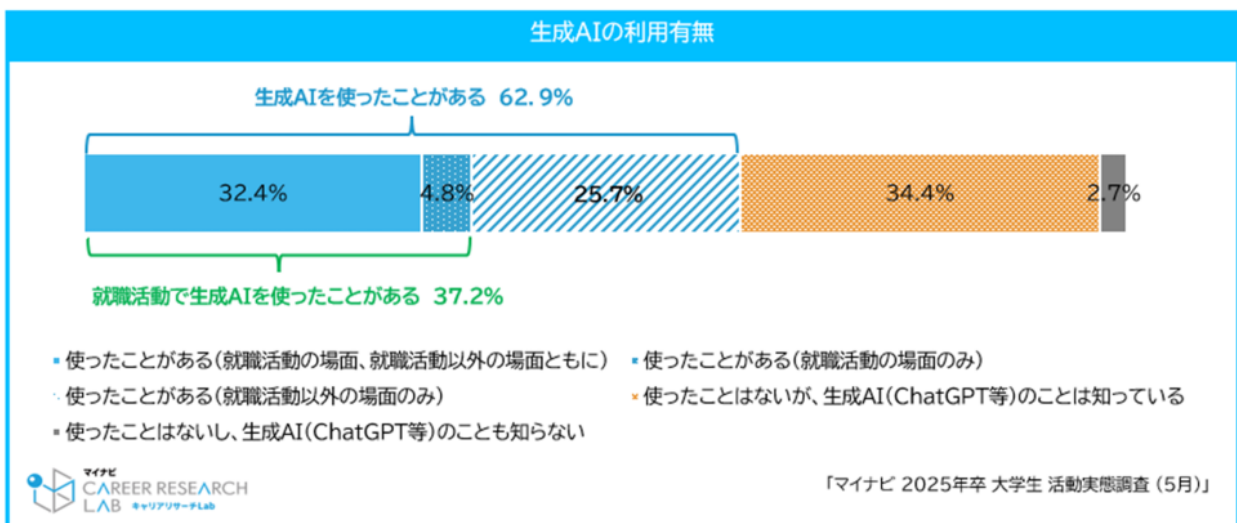


3人に1人以上が就職活動で生成AIを利用した経験があると回答
 利用用途は「エントリーシートの推敲」が最多で56.6%

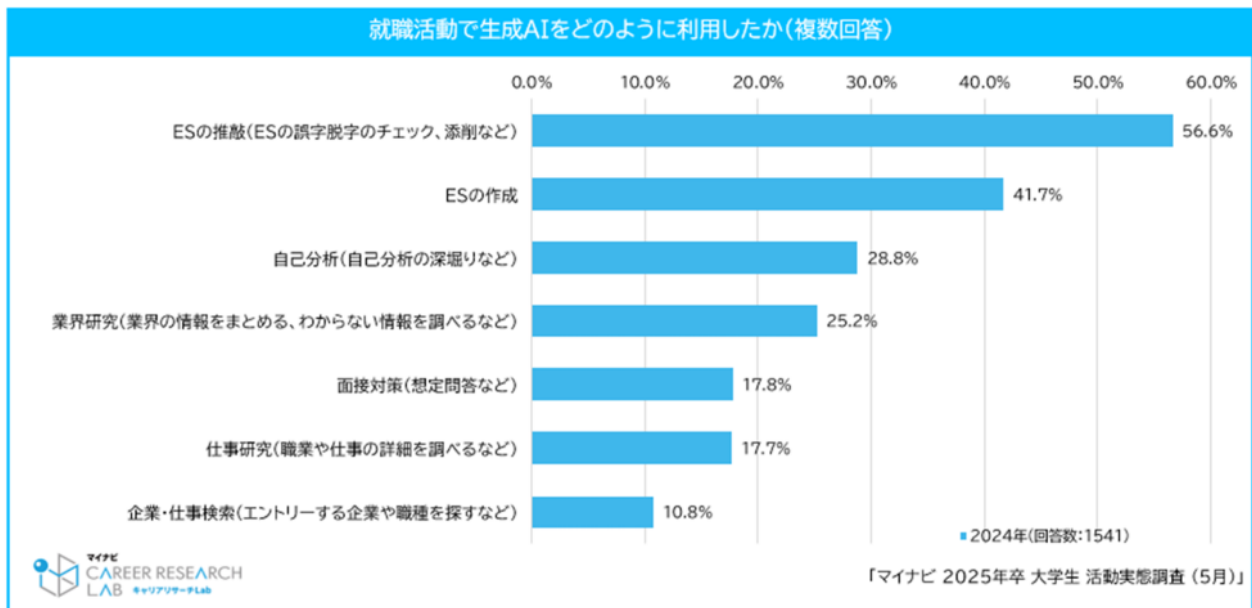
生成AI(ChatGPT等)の利用経験を聞いたところ、利用したことがある学生は62.9%、就職活動でも利用したこと※1があると回答したのは37.2%となった。就職活動での利用用途を聞いたところ、「エントリーシートの推敲(誤字脱字のチェック、添削など)」が56.6%と最多で、「エントリーシートの作成(41.7%)」「自己分析(自己分析の深掘りなど)(28.8%)」が続き、エントリーシートに関する利用が多かった。【図3、4】

※1:「就職活動の場面、就職活動以外の場面ともに使ったことがある」+「就職活動の場面のみ使ったことがある」の合計

【図3】



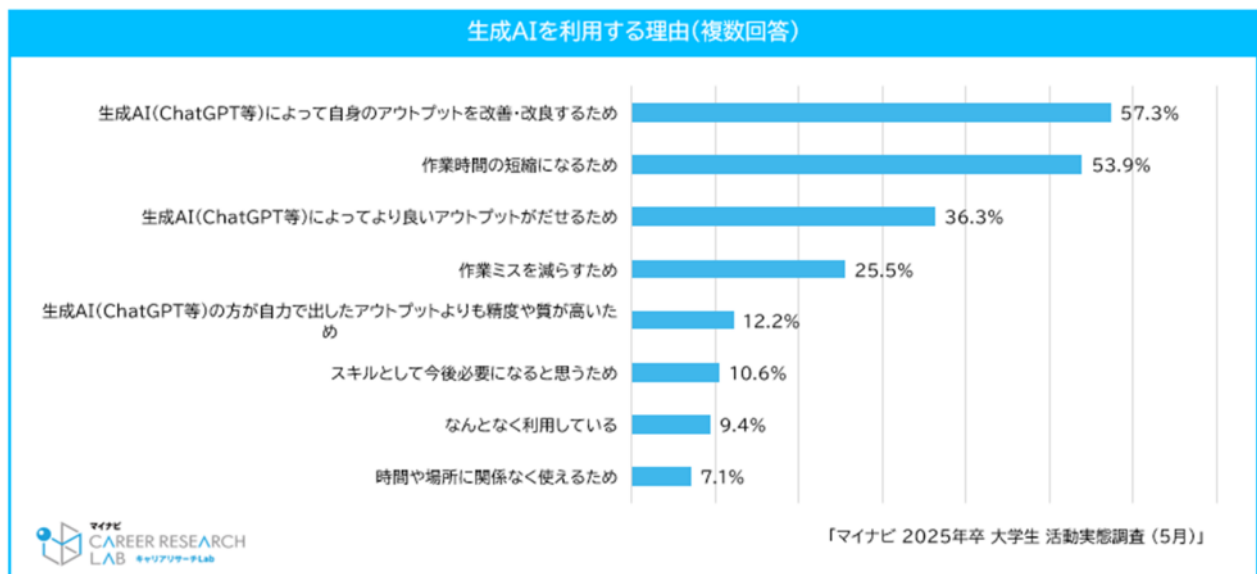
【図 4】



生成 AI を利用する理由は「自身のアウトプットの改善・改良」「作業時間の短縮」と活動の補助的な活用が上位に

就職活動での生成 AI の利用理由は「自身のアウトプットの改善・改良(57.3%)」「作業時間の短縮になるため(53.9%)」が上位に上がった。エントリーシートの推敲が利用用途で最多となり、初めから生成 AI を頼っているのではなく、自分で作成した文章を改良するためなど、あくまでも補助的に利用していることがわかった。【図 5】

【図 5】



有用だと感じたプロンプトは文章の添削に加えて、
生成 AI を人事担当者に見立てた面接練習などが挙がる

自身のまわりで流行っているプロンプト※2や有用だと感じたプロンプトを自由回答で聞いたところ、「言葉の言いかえを 10 個挙げて」「ES を 100 点満点で採点して」など、文章の添削に関するものが多く挙がった。中には、生成 AI を人事担当者に設定し「質問をして私の返答を評価して」「ES に対して深掘り質問をして」などのプロンプトを入力して、面接に備えている様子もうかがえた。【図 6】

※2: AI との対話において、ユーザが入力する指示や質問のこと

【図 6】

自身のまわりで流行っているプロンプトや有用だと感じたプロンプト(自由回答)

属性	内容
文系女子	生成AIでESを点数化してもらいました。 例:あなたの性格は〇〇で、〇〇歳の面接官です。 これから学生の面接をし、次のような自己アピールをされました。質問を考えてください。 あなたは〇〇社の面接官です。 〇〇社は〇〇、〇〇という価値観を大事にしており、近年は〇〇という活動をしています。 これらを踏まえて、以下のESを100点満点で採点してください。
理系女子	以下のようなプロンプトを利用していました。 「〇〇という言葉を使い換えた例を10個教えてください。」 「〇〇〇〇という文章を論理的な文章になるように、必要であれば語順を入れ替えた文章にしてください。」「〇〇という質問を受けました。この質問で何を問われているのか、この質問に対する回答で何を判断され得るか、教えてください。」
文系男子	自分の人生を時系列順に文章化し、それを読ませた上で面接で聞かれそうな質問をしました。
理系男子	ポジティブ入力とネガティブ入力を求めました。 ポジティブ入力では～のような内容を入れて欲しいと入れ、 ネガティブ入力では～のような内容は出力しないでほしいと入力し、文章作成を求めました。
文系女子	下記のように面接シミュレーションを行います。 「あなたは〇〇に勤務している人事担当です。明るく、素直で誠実な人材を求めています。 私は就職活動中で、〇〇に入社することを志望しています。今から私とあなたは採用試験として面接を行います。あなたは人事担当として私に質問を行い、私の返答に対して評価を行ってください。」
文系男子	次のようなプロンプトを使っていました。 「以下のエントリーシートに対して新卒採用を行う企業はどのような質問、深掘りをすると考えられますか？具体的に箇条書きにしてください。 なお、質問や深掘りの内容ごとにグループ分けした上でリストアップするようにしてください。」
理系男子	個人的に有用だと思ったのは、ChatGPTに模擬面接官としてのロールプレイをさせた際です。 具体的には、「あなたは、株式会社〇〇の面接官です。これから私を相手にいくつか質問をしてください。なお、質問は箇条書きで、私が「はい」と入力したら次の質問をしてください。」と入力していました。
理系女子	「はつらつとした就活生が書きそうなエントリーシート」という指定のプロンプトを使いました。

「マイナビ 2025年卒 大学生 活動実態調査 (5月)」

【調査担当者コメント】

5 月末時点での内々定率は 7 割を超える結果となりました。しかし、未内々定者を含む 58.2%が活動継続予定と回答し、多くの学生が就職活動を継続しています。内々定の有無にかかわらず、納得のいくファーストキャリアが決まるまで、焦らずに活動を続けていただければと思います。

また、学生に生成 AI(ChatGPT 等)の活用方法について聞いたところ、エントリーシートの推敲や面接対策といった、より良い自己 PR を行うための補助ツールとして利用していることがわかりました。生成 AI については情報の信ぴょう性や利用する際のリスクなどに注意しながら補助的なツールとして用いていただきたいと思います。

キャリアリサーチラボ 研究員 中島 英里香

【調査概要】「マイナビ 2025 年卒 大学生活動実態調査（5月）」

○調査期間／2024年5月25日(土)～5月31日(金)

○調査方法／マイナビ 2025 の会員に対する WEB アンケート

○調査対象／2025年3月卒業見込みの全国の大学3年生、大学院1年生

○調査機関／自社調べ

○有効回答数／4,224名(文系男子789名 文系女子1,731名 理系男子879名 理系女子825名)

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細はこちら(https://career-research.mynavi.jp/research/20240607_79119/)からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。

蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【当社に関するお問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 松田 Email:koho@mynavi.jp